

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2025年 第4週（1月20日～1月26日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	報告なし		
四類感染症	レジオネラ症	4人	病型 肺炎型 4人
五類感染症	アメーバ赤痢	1人	病型 腸管アメーバ症
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2人	菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 2人
	急性脳炎	3人	病原体 インフルエンザウイルスA型 2人、 病原体不明 1人
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人	血清群 B群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	6人	
	梅毒	6人	病型 早期顕症Ⅰ期 4人、 早期顕症Ⅱ期 1人、 無症状病原体保有者 1人
	播種性クリプトコックス症	1人	
	百日咳	9人	年齢階級 0歳 1人、8歳 1人、 10歳代 4人、30歳代 1人、 40歳代 1人、60歳代 1人

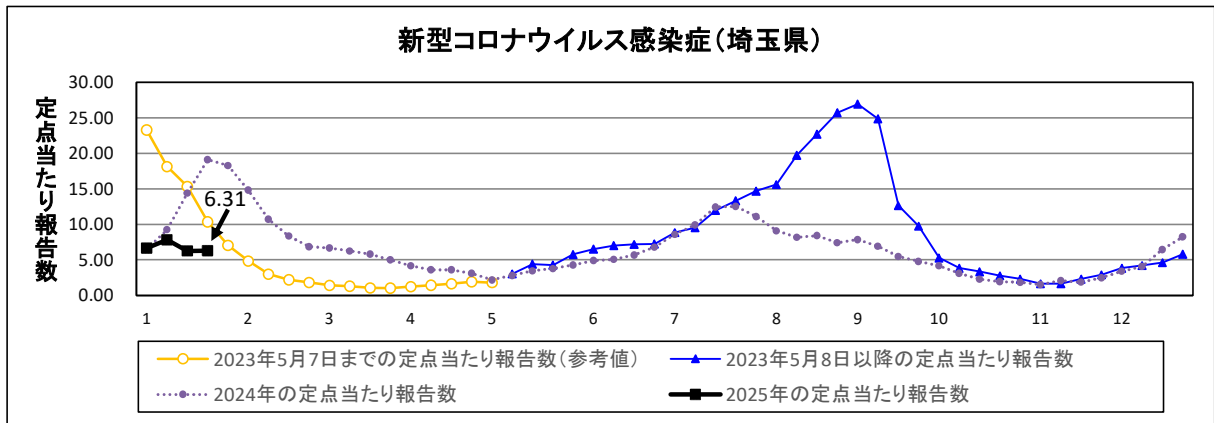
## &lt;定点把握対象疾患の患者情報&gt;

新型コロナウイルス感染症（6.28→6.31:図1）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、幸手（11.64）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は54人（前週51人）であり、年齢階級別では、70歳以上が約76%であった。インフルエンザ（17.74→11.98:図2-1～4）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、やや多い状況にある。保健所別では、坂戸（18.80）保健所管内からの報告が多い。また、基幹定点報告疾患のインフルエンザ（入院）（図2-4）は28人（前週41人）であった。伝染性紅斑（3.06→2.84:図3）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、多い状況が続いている。保健所別では、南部（5.80）保健所管内からの報告が多い。RSウイルス感染症（0.37→0.79:図4）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、南部（1.40→4.80）、幸手（1.11→3.33）保健所管内で大きく増加した。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎9人、流行性角結膜炎14人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎10人、クラミジア肺炎2人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第4週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第4週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

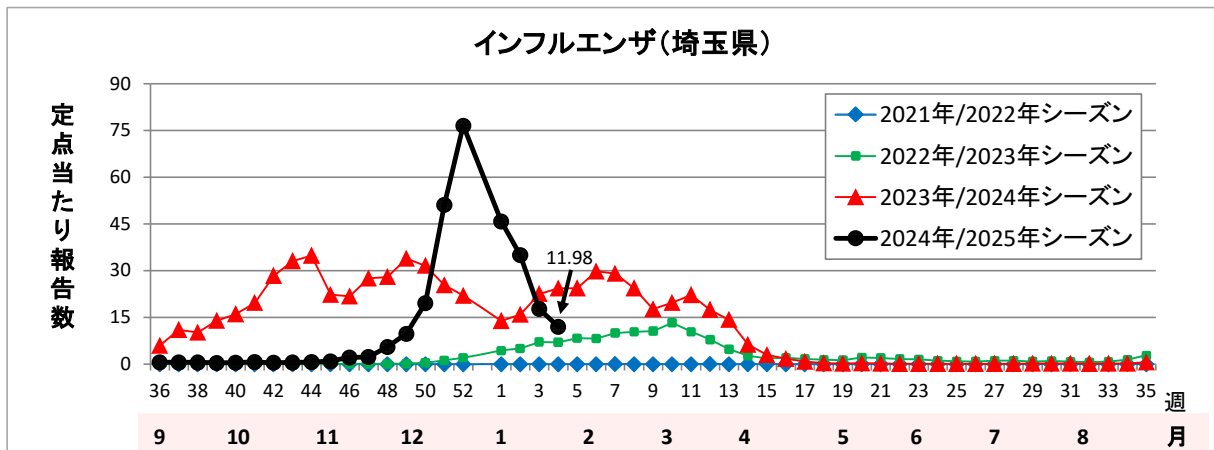
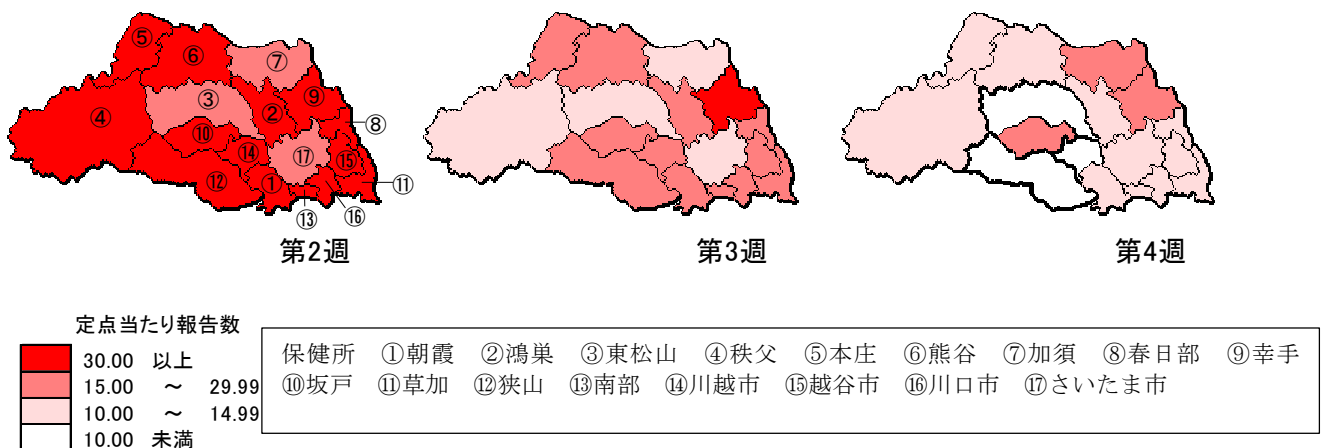


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2025年第2週～第4週）







感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第4週)

(2025年1月28日 15:15集計)

	今週 届出	累 計	2024年 累計		今週 届出	累 計	2024年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			2	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		1	183				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎			39	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			4	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムボックス				日本脳炎			1
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病				Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			1
チクングニア熱				レジオネラ症	4	7	141
つつが虫病		1	3	レプトスピラ症			1
デング熱			11	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	1	1	26	侵襲性肺炎球菌感染症	6	23	97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			17	水痘(入院例に限る)		1	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	8	103	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	6	22	477
急性脳炎	3	7	28	播種性クリプトコックス症	1	1	8
クリプトスポリジウム症				破傷風		1	2
クロイツフェルト・ヤコブ病			2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	7	108	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		5	33	百日咳	9	22	172
ジアルジア症				風しん			1
侵襲性インフルエンザ <sup>a</sup> 菌感染症	1	3	30	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第4週

1月20日~1月26日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 3,126	1,648	129	42	398	1,124	63	21	466	41	3	6	9	14	-	1	10	2	-	28	54	
	11.98	6.31	0.79	0.26	2.43	6.85	0.38	0.13	2.84	0.25	0.02	0.04	0.21	0.33	-	0.08	0.83	0.17	-	2.33	4.50	
朝 霞	報告数 274	153	8	2	56	97	11	1	57	6	-	1	-	2	-	-	4	-	-	4	9	
	11.91	6.65	0.53	0.13	3.73	6.47	0.73	0.07	3.80	0.40	-	0.07	-	0.50	-	-	4.00	-	-	4.00	9.00	
鴻 巣	報告数 268	132	1	2	38	116	2	-	34	1	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	14.11	6.95	0.08	0.17	3.17	9.67	0.17	-	2.83	0.08	-	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 79	30	-	-	13	35	1	2	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.88	3.75	-	-	2.60	7.00	0.20	0.40	1.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	
秩 父	報告数 59	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1	
	11.80	4.60	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1.00	
本 庄	報告数 75	30	1	-	-	1	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	10.71	4.29	0.25	-	-	0.25	0.50	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	
熊 谷	報告数 156	106	4	-	13	40	2	2	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	12.00	8.15	0.50	-	1.63	5.00	0.25	0.25	1.13	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	
加 須	報告数 150	77	1	2	6	4	2	2	5	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	2	
	15.00	7.70	0.17	0.33	1.00	0.67	0.33	0.33	0.83	-	-	-	-	2.00	-	-	-	2.00	-	1.00	2.00	
春 日 部	報告数 130	86	3	4	18	77	1	-	18	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	13.00	8.60	0.50	0.67	3.00	12.83	0.17	-	3.00	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 235	163	30	5	24	34	-	2	37	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	16.79	11.64	3.33	0.56	2.67	3.78	-	0.22	4.11	0.11	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 188	85	3	-	11	44	2	2	7	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18.80	8.50	0.50	-	1.83	7.33	0.33	0.33	1.17	0.17	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	9.00	
草 加	報告数 241	135	1	6	14	86	3	1	31	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	12.68	7.11	0.08	0.50	1.17	7.17	0.25	0.08	2.58	0.25	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 217	160	20	5	59	72	8	-	30	2	-	-	9	1	-	-	2	-	-	1	3	
	8.68	6.40	1.25	0.31	3.69	4.50	0.50	-	1.88	0.13	-	-	1.80	0.20	-	-	2.00	-	-	1.00	3.00	
南 部	報告数 82	47	24	1	34	45	3	1	29	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	
	10.25	5.88	4.80	0.20	6.80	9.00	0.60	0.20	5.80	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	1.00	4.00	
川 越 市	報告数 133	67	-	3	26	36	4	1	27	2	1	-	-	4	*	*	*	*	*	*	*	
	9.50	4.79	-	0.38	3.25	4.50	0.50	0.13	3.38	0.25	0.13	-	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 164	96	-	3	6	50	3	1	32	3	-	-	-	-	-	1	2	-	-	4	5	
	12.62	7.38	-	0.38	0.75	6.25	0.38	0.13	4.00	0.38	-	-	-	-	-	1.00	2.00	-	-	4.00	5.00	
川 口 市	報告数 234	116	14	-	33	131	2	-	52	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
	11.70	5.80	1.08	-	2.54	10.08	0.15	-	4.00	0.23	0.08	0.15	-	-	-	-	-	-	-	2.00	2.00	
さいたま市	報告数 441	142	19	8	47	256	17	4	91	9	1	1	-	4	-	-	1	-	-	5	9	
	10.26	3.30	0.68	0.29	1.68	9.14	0.61	0.14	3.25	0.32	0.04	0.04	-	0.44	-	-	1.00	-	-	5.00	9.00	

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

1月 28日 13:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数		年齢別 (2025年第4週 1月20日~1月26日)																		
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ #1	3,126	9	30	83	108	161	175	205	215	203	213	159	568	151	120	193	188	150	69	66	60
新型コロナウイルス感染症	1,648	6	25	46	37	31	36	35	19	44	29	29	186	94	136	143	169	209	113	141	120
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~							
RSウイルス感染症	129	18	18	35	34	15	3	5	-	-	1	-	-	-							
咽頭結膜熱	42	-	3	8	9	3	3	3	5	3	-	5	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	398	1	-	13	24	28	56	44	55	37	34	24	60	4	18						
感染性胃腸炎	1,124	3	62	161	110	100	106	93	89	59	61	46	127	17	90						
水痘	63	-	1	7	-	3	1	6	10	6	7	6	15	1	-						
手足口病	21	-	1	6	3	1	2	2	2	1	-	1	2	-	-						
伝染性紅斑	466	-	-	20	31	58	81	79	72	39	37	24	23	-	2						
突発性発しん	41	-	7	23	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	2	1	-						
	合計	-6カ月-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~		
急性出血性結膜炎	9	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	3	-		
流行性角結膜炎	14	-	-	-	-	3	1	-	1	1	-	1	1	1	2	1	1	-	1		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	10	-	1	4	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-					
クラミジア肺炎 #3	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	28	3	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	19				
新型コロナウイルス感染症(入院)	54	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	3	3	41				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第1週 (12月30日～1月5日)

令和7年1月29日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岐阜県(70.67)、茨城県(60.18)、愛知県(55.97)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は5,281例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(156例)、1～9歳(752例)、10代(109例)、20代(61例)、30代(77例)、40代(130例)、50代(289例)、60代(492例)、70代(1,112例)、80歳以上(2,103例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岐阜県(13.91)、福島県(13.30)、茨城県(12.21)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,568例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(55例)、1～9歳(38例)、10代(20例)、20代(27例)、30代(32例)、40代(37例)、50代(105例)、60代(248例)、70代(599例)、80歳以上(1,407例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は北海道(0.59)、徳島県(0.48)、福井県(0.36)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(0.44)、大分県(0.44)、山形県(0.39)、福島県(0.35)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(2.93)、大分県(1.44)、新潟県(1.42)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(3.64)、愛媛県(3.09)、福井県(2.56)である。手足口病の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.51)、山形県(0.39)、秋田県(0.33)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(0.80)、栃木県(0.42)、千葉県(0.42)、山形県(0.39)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は富山県(0.04)、福井県(0.04)、茨城県(0.03)、沖縄県(0.03)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第50週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は奈良県(0.10)、滋賀県(0.09)、富山県(0.07)である。

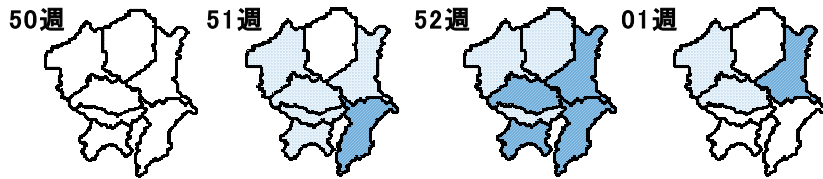
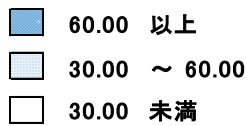
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第50週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岡山県(3.40)、広島県(2.50)、埼玉県(2.00)、岐阜県(2.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。7都道府県から11例報告があり、年齢群別では0歳(2例)、1～4歳(2例)、5～9歳(5例)、10代(1例)、30代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年第1週(12月30日～1月5日)、2025年第2週(1月6日～1月12日):通巻第27巻第1・2合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(60.18)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2025年01週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	141,998	27,910	6,018	1,460	1,964	6,174	4,872	4,474	2,948
	定点当たり	33.82	26.01	60.18	28.63	35.71	46.07	28.33	13.81	12.44
新型コロナウイルス感染症	報告数	22,357	4,464	1,221	387	378	900	726	428	424
	定点当たり	5.32	4.16	12.21	7.59	6.87	6.72	4.22	1.32	1.79
RSウイルス感染症	報告数	446	110	15	11	5	31	9	17	22
	定点当たり	0.17	0.16	0.25	0.33	0.14	0.35	0.09	0.08	0.15
咽頭結膜熱	報告数	310	58	10	3	7	17	2	12	7
	定点当たり	0.12	0.09	0.16	0.09	0.20	0.19	0.02	0.06	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,608	474	179	27	16	72	69	89	22
	定点当たり	0.61	0.70	2.93	0.82	0.46	0.81	0.66	0.44	0.15
感染性胃腸炎	報告数	2,881	638	79	17	47	99	107	174	115
	定点当たり	1.09	0.95	1.30	0.52	1.34	1.11	1.03	0.85	0.78
水痘	報告数	365	88	1	3	11	17	8	32	16
	定点当たり	0.14	0.13	0.02	0.09	0.31	0.19	0.08	0.16	0.11
手足口病	報告数	233	66	13	10	2	11	8	11	11
	定点当たり	0.09	0.10	0.21	0.30	0.06	0.12	0.08	0.05	0.07
伝染性紅斑	報告数	428	271	6	14	8	71	44	77	51
	定点当たり	0.16	0.40	0.10	0.42	0.23	0.80	0.42	0.38	0.34
突発性発しん	報告数	138	36	4	6	3	6	4	9	4
	定点当たり	0.05	0.05	0.07	0.18	0.09	0.07	0.04	0.04	0.03
ヘルパンギーナ	報告数	10	3	2	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.00	0.03	-	-	0.01	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告数	38	9	3	1	-	2	1	2	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.05	0.03	-	0.02	0.01	0.01	-
急性出血性結膜炎	報告数	9	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.11	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	124	40	12	1	1	5	4	12	5
	定点当たり	0.22	0.29	1.00	0.11	0.17	0.28	0.14	0.40	0.15
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	7	3	-	-	-	1	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.03	-	-	-	0.11	0.08	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	368	68	13	2	5	24	5	17	2
	定点当たり	0.77	0.78	1.00	0.29	0.56	2.00	0.56	0.68	0.17
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	11	3	-	-	1	1	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	0.11	0.08	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)



# 全国・関東情報

第2週 (1月6日～1月12日)

令和7年1月29日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は徳島県(57.38)、宮崎県(57.24)、高知県(56.36)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は4,684例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(137例)、1～9歳(617例)、10代(90例)、20代(58例)、30代(64例)、40代(127例)、50代(283例)、60代(473例)、70代(947例)、80歳以上(1,888例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(12.82)、宮城県(11.99)、徳島県(11.51)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,889例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(60例)、1～9歳(57例)、10代(21例)、20代(30例)、30代(29例)、40代(53例)、50代(151例)、60代(249例)、70代(730例)、80歳以上(1,509例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(1.15)、大阪府(0.81)、三重県(0.71)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(1.07)、宮崎県(0.92)、宮城県(0.78)、鹿児島県(0.78)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は茨城県(5.71)、富山県(3.59)、福岡県(2.97)、大分県(2.97)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(9.69)、石川県(6.97)、愛媛県(6.08)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.63)、鹿児島県(0.45)、岩手県(0.41)、長野県(0.41)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は青森県(3.54)、埼玉県(2.83)、千葉県(2.69)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は香川県(0.07)、北海道(0.04)、山形県(0.04)、福井県(0.04)、三重県(0.04)、熊本県(0.04)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は岡山県(0.09)、山梨県(0.08)、高知県(0.08)である。

**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は兵庫県(3.07)、青森県(2.67)、高知県(1.88)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。2都道府県から4例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、5～9歳(3例)であった。

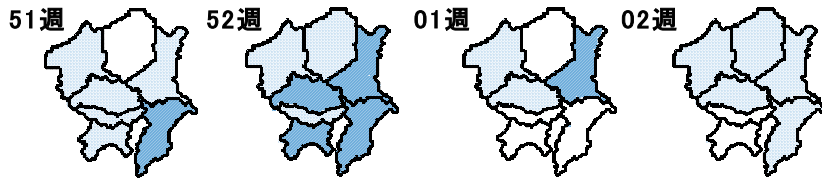
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年第1週(12月30日～1月5日)、2025年第2週(1月6日～1月12日):通巻第27巻第1・2合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(40.75)、栃木県(40.42)、千葉県(40.02)、群馬県(36.72)、埼玉県(34.98)で定点当たり報告数30.00を上回っている。

### インフルエンザ

- 60.00 以上
- 30.00 ～ 60.00
- 30.00 未満



2025年 02週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 172,417 定点当たり 35.02	46,994 30.94	4,890 40.75	3,072 40.42	3,121 36.72	9,131 34.98	8,045 40.02	9,166 21.93	9,569 26.73
新型コロナウイルス感染症	報告数 34,857 定点当たり 7.08	9,943 6.55	1,357 11.31	819 10.78	794 9.34	2,049 7.85	1,584 7.88	1,561 3.73	1,779 4.97
RSウイルス感染症	報告数 1,058 定点当たり 0.34	262 0.27	15 0.20	19 0.40	5 0.09	67 0.41	14 0.11	86 0.33	56 0.24
咽頭結膜熱	報告数 981 定点当たり 0.31	189 0.20	24 0.32	9 0.19	21 0.40	38 0.23	38 0.30	34 0.13	25 0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 5,417 定点当たり 1.73	1,897 1.98	428 5.71	84 1.75	51 0.96	324 1.98	333 2.62	409 1.56	268 1.17
感染性胃腸炎	報告数 12,935 定点当たり 4.13	4,554 4.75	261 3.48	120 2.50	269 5.08	749 4.57	685 5.39	1,515 5.76	955 4.17
水痘	報告数 1,098 定点当たり 0.35	405 0.42	14 0.19	10 0.21	22 0.42	72 0.44	32 0.25	157 0.60	98 0.43
手足口病	報告数 515 定点当たり 0.16	145 0.15	7 0.09	8 0.17	8 0.15	44 0.27	17 0.13	35 0.13	26 0.11
伝染性紅斑	報告数 2,929 定点当たり 0.94	2,005 2.09	61 0.81	98 2.04	36 0.68	464 2.83	342 2.69	640 2.43	364 1.59
突発性発しん	報告数 634 定点当たり 0.20	172 0.18	8 0.11	13 0.27	9 0.17	25 0.15	27 0.21	58 0.22	32 0.14
ヘルパンギーナ	報告数 30 定点当たり 0.01	7 0.01	-	-	-	-	1 0.01	3 0.01	3 0.01
流行性耳下腺炎	報告数 84 定点当たり 0.03	36 0.04	2 0.03	-	1 0.02	9 0.05	6 0.05	10 0.04	8 0.03
急性出血性結膜炎	報告数 47 定点当たり 0.07	26 0.13	-	2 0.17	-	17 0.40	4 0.12	2 0.05	1 0.02
流行性角結膜炎	報告数 773 定点当たり 1.12	299 1.46	66 3.88	23 1.92	14 1.00	37 0.88	44 1.33	37 0.95	78 1.63
細菌性髄膜炎 #2	報告数 11 定点当たり 0.02	4 0.05	-	1 0.14	-	1 0.08	1 0.11	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 16 定点当たり 0.03	6 0.07	-	-	1 0.11	1 0.08	-	3 0.12	1 0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 531 定点当たり 1.11	91 1.05	18 1.38	4 0.57	9 1.00	19 1.58	6 0.67	25 1.00	10 0.83
クラミジア肺炎 #3	報告数 2 定点当たり 0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 4 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

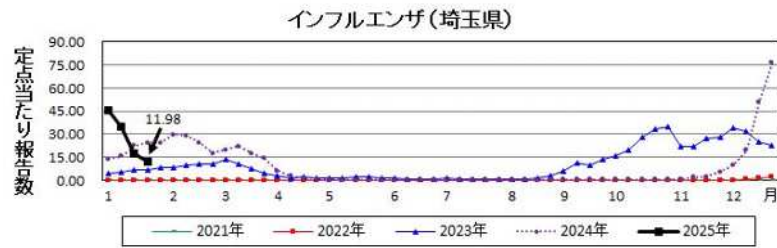
- 感染症発生動向調査 2025年**
- [▶ 感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
  - [▶ 感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
  - [▶ 感染症の流行状況 2025年 第3週](#)

## 感染症の流行状況 2025年 第4週

2025年第4週（1月20日～1月26日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は11.98であり、前週と比較して減少しましたが、やや多い状況にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	→	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	→	★★★★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	↓	★★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	↓	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

